

案件概要書

2019 年 4 月 23 日

1. 基本情報

- (1) 実施国名：シンガポール共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域：シンガポール，東北地方，東京都近郊
- (3) 案件名： 災害リスクの削減とマネジメント（Disaster Risk Reduction and Management）
- (4) 計画の要約：

本研修は、シンガポール外務省と共催するプログラム「21 世紀のための日本・シンガポール・パートナーシップ・プログラム」（JSPP21）の 1 コースであり，東南アジア，大洋州および南アジア諸国の防災担当の行政官を対象に日・シンガポール両国より都市災害や大規模自然災害含む防災の取り組みの知見の共有を図り，参加国の防災に向けた取り組みや緊急時のマネジメントシステムの改善を目的とするもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

1994 年から，援助国家に成長したシンガポールを支援するため，「日本・シンガポール・パートナーシップ・プログラム（Japan-Singapore Partnership Program（JSPP）」を実施。1997 年には，両国が経費を折半負担し，対等な立場で第三国に対する技術協力を共同で行う「21 世紀のための日本・シンガポール・パートナーシップ・プログラム（Japan-Singapore Partnership Program for the 21st Century（JSPP21）」を開始し，東南アジア地域の共通課題やニーズの高い海上安全や都市開発等の分野を中心に毎年度 10 コース前後の研修を実施しており，2017 年度までに約 390 コースを実施，約 6,800 名の研修員が参加している。本プログラムでは，東南アジア地域の広域の課題である災害リスク削減に対して日・シンガポール両国の知見を活用するだけでなく，ASEAN 各国の行政官のネットワーク形成も担っているところ，参加各国の能力向上に加え，対 ASEAN 広域の関係上も重要である。

- (2) 東南アジア地域における防災セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

東南アジア地域は洪水，台風，地震，津波等の災害が多発する地域であり，そうした災害による重大な経済的損失のリスクを抱えており，被害の低減が重要な課題である。本件は，かかる東南アジアの脆弱性の克服に貢献するものとして，日・シンガポールの知見の共有を通じ，参加国の防災能力の強化に資するもの。

3. 計画概要

- (1) 計画概要

- ① 計画内容

本研修では日・シンガポールの経験を基に，都市災害及び自然災害に対する予防や緩和策，及び復旧・復興に関する基本的な知識を共有することで，参加国の

防災に向けた取り組みや緊急時のマネジメントシステムの改善を目指す。具体的な内容は以下のとおり。

1. シンガポールおよび日本人講師による講義に加えて、日本国内では東北地方の東日本大震災の被災地および東京近郊の河川災害の対策現場の視察を通じて、日本国内の災害復興や日・シンガポールの災害リスク削減（防災や最新技術）の取り組みや知識を取得する。
2. 各災害や防災のフェーズごとの対策に関する講義を通して、国や自治体、地域社会における災害リスクの削減やマネジメントの手法を理解する。
3. 各国の課題に対するアクションプランを作成する。

② 期待される開発効果

本研修を通じて、研修員は防災に関する方針と各段階（予防、緊急時対応、復興）での対策を理解することによって、それぞれの国や組織における防災とマネジメントシステムを改善するためのアクションプランの作成が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制

シンガポール外務省／シンガポール市民防衛局

(2) その他特記事項：

特になし。

以 上